

マツイカガク(株)は、創業以来ビールやジュース、コーヒーといった飲料缶や食缶、美術缶など金属に印刷するインキの製造販売を行っています。「金属インキを中心に勝負しているのはインキ業界でも当社だけ」と松井社長が話すように、金属印刷用インキの国内シェア約80%を占める優良企業です。なお、現在は東洋インキグループとしてオフセットのUVインキも手掛けています。貴志部長も先代からの長い付き合いをしてきて、同社の高い技術力はよく知っています。「今の会社があるのは、お客様の支えが力となり、先輩方が引継ぎ続けてくれたおかげ。これからは先輩方が今までできなかったことをやっていきたい」と4代目の松井社長は熱く語ります。

同社がこの業界に参入したのは昭和9年。創業者である松井利一氏が当時、本社近くにあった製缶会社社長と金属缶に直接印刷ができないかを話し合ったのがきっかけだそうです。特殊な印刷技術を強みに経営を続け、昨年、創業77周年、会社設立から60周年を迎えられました。

同社の製品は、金属に対するインキの密着性の良さなどその品質の高さ、確かな技術力でおお客様の信頼を得ています。現在、中国やタイの飲料缶にも使われるようになり、今後も更なる業務拡大を目指しております。近年、ペットボトルの容器が増えましたが、この技術なら、ペットボトルへの印刷も可能性があると松井社長は考えておられるそうです。

会議所には、昭和37年に加入し今年で50年になる永年継続会員です。「会社はその地域で信頼を得て育つもの。会議所では様々な業種の方と交わることでもまたヒントが出てくる。井の中の蛙ではない」との松井社長の真摯な言葉に、貴志部長も「京都にはユニークで魅力的な企業がたくさんある。今後でも部会事業などに参加して様々な企業との交流を図ってほしい」と今回の部会員交流大会にもお誘いしました。



マツイカガクの本社ビル

## 業界で唯一、金属印刷用インキで勝負



松井社長(左)と貴志部会長(右)

こんにちは！  
〇〇部会です

部会長の部会員訪問  
化学部会編

「創意と誠意」で  
設立から60年

マツイカガク株式会社

会員との“つながり”拡充を目的に、本所の12部会の部会長が部会員の皆さまを訪問いたしております。今回は、化学部会の貴志吉延部会長が、マツイカガク(株)を訪問し、松井寿文代表取締役社長からお話を伺いました。

## 会社は地域で信頼を受けて成長するもの

## 化学部会のご紹介

〈部会長〉 貴志 吉延 (明成化学工業株式会社 代表取締役会長)  
〈部会員数〉 278件 (平成24年6月29日)

化学部会では、会員相互の交流事業をはじめ、話題となっているテーマについての講演会や、各地の特色ある企業への視察会などを行っています。

毎年7月の部会員交流大会、2月の新年会では、部会員の皆様からご提供頂いた豪華商品の抽選会や、名物司会によるカラオケ大会を行うなど、参加者同士がすぐに打ち解けて楽しく親睦を深めていただける会となっています。アットホームな化学部会に、お気軽にご参加ください。

【化学部会の年間事業予定】  
7月6日 部会員交流大会  
11月ごろ 視察見学会  
2月 新年会 など

【お問合せ】  
化学部会事務局  
(京都商工会議所 会員部)  
TEL: 075-212-6410  
E-mail: kaiin@kyo.or.jp